

目 次

1 章	総 則	
1.1	基本事項	1
1.2	適用範囲	2
1.3	管理体制	3
1.4	全体工程	4
1.5	用 語	6
2 章	種類および品質	
2.1	対象アンカー	10
2.2	使用材料の品質	13
2.3	母材コンクリート	15
3 章	施工計画	
3.1	施工条件の確認と現地調査	16
3.2	施工計画書	19
3.3	準備作業	25
3.4	材料受入れ検査と保管管理	30
3.5	安全衛生管理	31
4 章	あと施工アンカー工事	
4.1	標準施工手順	32
4.2	準備と墨出し	35
4.3	穿 孔	35
4.4	孔内清掃と穿孔深さの確認	38
4.5	固着（アンカーの挿入と拡張）	40
4.6	自主検査	47
4.7	終了報告	48
4.8	完了報告	49
5 章	検査および取付物の取付け	
5.1	立会い検査	50
5.2	取付物の取付け	52

金属系／金属拡張アンカー 付録

- 付M1 金属拡張アンカーの寸法と用途例
- 付M2 金属拡張アンカーの拡張方式の詳細
- 付M3 金属拡張アンカー各種の施工手順例と要領
- 付M4 金属拡張アンカー／芯棒打込み式の施工手順例
- 付M5 工程および品質確認関連
 - <表M5.1 工程管理項目と管理方法および不具合時処置例>
 - <表M5.2 品質確認項目と管理区分>
 - <表M5.3 施工確認シート>
- 付M6 制約条件下における施工対処例
 - (1) 穿孔時に鉄筋や鉄骨に干渉した場合
 - (2) 穿孔時に母材にひび割れや豆板があった場合
 - (3) 母材に水の影響がある場合
 - (4) ダイヤモンドコアドリルを用いて穿孔する場合
 - (5) 仕上材等で埋込み長さを変更する場合

参考M1 金属拡張アンカーQ&A

共通付表、共通付録、付属資料

- 付表1 工事提出書類関連
 - <付表1.1 工事着手前提出書類と提出時期>
 - <付表1.2 持込機械使用届>
- 付録1 ねじボルトと異形棒鋼の機械的性質と断面積
- 付録2 ねじ規格とねじ等級
- 付録3 電気亜鉛めっきと溶融亜鉛めっき
- 付録4 穿孔機械
- 付録5 コンクリートドリル
- 付録6 清掃機器
- 付録7 締付けトルク値およびトルク締付け原理と締付け管理法
- 付録8 騒音・振動等の環境測定
- 付録9 安全衛生に関する職務
- 付録10 施工責任者、現場責任者および施工者が行う職務

- 付属資料1 あと施工アンカー資格認定制度
- 付属資料2 非破壊引張試験法
- 付属資料3 既存構造物のコンクリート強度調査法
 - 小径コアによるコンクリート強度調査法—